

国際会議(11月13日)

【場所】笹川記念会館(東京都港区三田3-12-12)会議室1・2

【参加者】

アジア太平洋諸国の保健省・農水省AMR担当者:マレーシア、バングラデシュ、ミャンマー、韓国、タイ、中国、オーストラリア、カンボジア、フィリピン、インドネシア

国際機関等:米国CDC、WPRO、OIE、ASEF、Wellcome Trust

日本:厚労省、農水省、JICA、国立感染症研究所、AMR臨床リファレンスセンター

【概要】

○セッション1

(アクションプランの策定について)

ワンヘルスの記載を盛り込んだアクションプランを策定済みの国の経験を共有することで、アクションプランの策定を促す。

(抗微生物剤適正使用の推進について)

医師・獣医師への研修や適正使用のマニュアルの普及が重要であり、各国のツールを共有。

(ワンヘルスサーベイランスの推進について)

サーベイランスを行う上で必要となる検査体制と情報を収集するシステムの構築の支援策を検討。

○セッション2

国際機関等からのAMRに関する支援策に関するプレゼンを受け、各国のニーズのマッチング。

○ラップアップ・セッション

会議のサマリー文書を作成。

シンポジウム(11月14日)

【概要】

○基調講演: サリー・デイビス英政府首席医務官

AMRの現状、国際的なコミットメントについて(先進国と途上国)、技術的な方略、英国の状況について

○抗微生物薬適正使用

大曲AMR臨床リファレンスセンター センター長(他2名): AMR臨床リファレンスセンターの普及・啓発活動について

○ワンヘルス・サーベイランス

柴山国感研細菌第二部長(他2名): 日本のサーベイランスシステム(JANIS)の紹介、支援の状況